



令和7年度和歌山県立古佐田丘中学校スクールプラン

和歌山県がめざす 育てたい子供たちの姿
「自分の考えをつくりあげ、自らの言葉で表現できるこども、失敗を恐れないバイタリティーをもったこども、多様な人が共に暮らす社会で他者の思いに共感し、異なる価値観を持つ人とも協働しながら合意形成を図ることのできるこども」

保護者・地域の願い

- 確かな学力
- 主体的な学び
- 礼儀正しさや規範意識の向上
- 学校・保護者・地域の連携
- 中高の連携での学び

【学 校 教 育 目 標】
個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する
創造性豊かな人間の育成

【めざす生徒像】

- ・心身ともに健康でたくましく、発信力のある生徒
- ・豊かな心と確かな学力を身に付けた生徒
- ・自己の生き方を考え、自ら学び、未来を切り拓いていこうとする意欲を持ち、地域や学校に誇りを持つ生徒
- ・多様な価値を認め、新しい価値を創造する生徒

前年度の学校評価

- 生徒達は、家庭学習の習慣・しっかりとした学力がつき、本校に入学してよかったと実感していることがわかる。
- 探究活動で高校との連携を推進するために、授業・行事を更に発展させていく。

生徒の実態

- 生徒達は他人を思いやり・生命や人権を大切にする意識を持ち、挨拶やマナーなどを身につけている。
- 清掃などの奉仕活動にも意欲的に取り組んでいる。
- 全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の結果からは、テレビゲームやスマートフォンの利用時間が長い傾向がある。

重点目標

**確かな学力の定着
(わかる授業の実践、学び
に向かう力の育成)**

**人間関係構築能力と
キャリア教育の推進**

**コミュニティ・スクール及び
ユネスコスクールとして社会
に貢献する人材の育成**

中高一貫教育の推進

具体的な取組

- ◎生徒自身が課題設定し、問題解決に向かって探究する力を育成する。
- 「手帳」・「自学ノート」を活用した学習習慣を確立する。
- ICT活用を研究する。
- 和歌山の授業づくり 基礎・基本3か条（きのくに学習スタンダード）で授業実践を行う。

- ◎日々の学校生活や職業体験活動・校外学習等を通して、学校での学びが社会生活・職業生活、自身の将来にどうつながっていくかを考える機会を充実させる。
- 生徒が主体的に取り組む学級活動や生徒会活動、学校行事を充実させ、自己肯定感を高める機会をもつ。
- 道德教育の充実とソーシャルスキル学習の実践。

- ◎地域人材を活用した「ふるさと学習」を通して、地域の良さや課題を知る。
- ◎HP等を活用し、家庭や地域に情報発信をすることで学校への理解を深める。
- 体験活動をとおり地域の方々と交流するなかで規範意識や道徳性をさらに身につけ実践力を向上させる。

- ◎発達段階に応じた生徒支援につながる教育相談の充実。
- ◎中高教員の授業交流・相互の授業見学を行うことで、6年間の見通しを持ち、生徒の実態に即した教育活動実践を行う。
- 行事での生徒交流を充実することで多様な価値観を認め合い協働できる力を育成する。

指標

- ・ 学校評価の「しっかりとした学力がついてきている」「家庭学習習慣がついている」に対する肯定的回答が90%以上。

- ・ 学校評価の「進路や職業、生き方について考える機会がある」「社会の一員としての基本が定着している」に対する肯定的な回答が90%以上。

- ・ 学校評価の「学校は、家庭や地域社会とよく連携している」、「社会の一員としての基本が定着している」に対する肯定的な回答が90%以上。

- ・ 学校評価の「学校の雰囲気はよく、充実した学校生活を送っている」に対する肯定的な回答が90%以上。

◎：特に重点的に取り組むこと